



与謝野町 議会だより

第 81 号

2026年
8月10日 発行



特集

与謝野町議会改革特別委員会の
設置に関する決議（案）

賛成6：反対9で否決

写真：加悦双峰公園から眺める加悦谷平野

主な記事

- ◎新しい議会がスタート・・・2 P
- ◎特集・議会改革特別委員会
設置に関する決議（案）・・・8 P
- ◎一般会計第2号補正予算・・・12 P
- ◎一般質問・・・・・・・・・・18 P

総務文教厚生 常任委員会 とは

総務課、企画財政課、住民税務課、会計課、福祉課、保健課、子育て応援課、CATVセンター及び教育委員会の所管並びにそれらに関連する事項の調査をする委員会です。



委員長 今井浩介 副委員長 棕平直康

総務文教厚生 常任委員会

産業建設環境 常任委員会 とは

防災危機管理対策課、農林環境課、産業観光課、建設課及び上下水道課の所管並びにそれらに関連する事項の調査をする委員会です。



委員長 野村生八 副委員長 安達種雄

産業建設環境 常任委員会

広報 常任委員会 とは

議会広報・広聴に関連する事項を所管します。主に年4回の議会だよりの編集および発行をする委員会です。



委員長 山崎政史 副委員長 園田研斗

広報 常任委員会

新しい議会がスタート



議長
宮崎有平



監査委員
江原英樹



副議長
和田裕之

議長に宮崎有平氏を選任 副議長に和田裕之氏が就任



議会構成HP

議長あいさつ

町民の皆様におかれましては、日頃から町議会の活動に深いご理解とご協力を賜り、心より感謝申し上げます。さて、与謝野町は、4月5日に町長と議会議員選挙が行われ、新しく佐賀町長が誕生し、議会議員も半数が変わる結果となりました。また、議員各位のご推挙を賜り、第十一代議長という栄誉ある重責を担うことになり身に余る光栄でありますとともに、その責任の重さに身の引き締まる思いでございます。与謝野町が、住みよい町として発展していくためには、町民の皆様、行政、そして、議会がそれぞれの役割を果たしながら、力を合わせて取り組んでいくことが不可欠です。これからも、皆様の信頼と期待に応えられるよう公正・公平で民主的な議会運営に努めるとともに「開かれた議会」を目指し、情報発信に努めてまいりますので、温かいご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

議会運営委員会 とは

議会の運営を円滑に行うため、議会の運営方法を協議したり、議会の会議規則、委員会の条例等、また議長から諮問された事項等について、調査や審査を行います。



委員長 永島洋視 副委員長 山崎政史

議会運営 委員会

令和8年4月5日
選挙で選ばれた



議員名簿HP

※議席番号順の掲載です

16人の

議員の顔と名前を覚えて下さい！

①趣味 ②好きな食べ物 ③座右の銘

えはら ひでき

江原英樹

【住所】三河内
【所属党派】無所属
【所属会派】無会派
【当選回数】2

- ①まちづくり
- ②健康食
- ③歴史が導く未来



のむら しょうはち

野村生八

【住所】三河内
【所属党派】日本共産党
【所属会派】日本共産党
与謝野町議員団
【当選回数】4

- ①音楽
- ②麻婆豆腐
- ③一歩前に進め



いの よこ

石野洋子

【住所】幾地
【所属党派】日本共産党
【所属会派】日本共産党
与謝野町議員団
【当選回数】1

- ①音楽・ダンス・映画鑑賞
- ②アップルパイ・レモン・ニンニク抜き餃子
- ③明けない夜はない



あだち たねお

安達種雄

【住所】岩屋
【所属党派】無所属
【所属会派】無会派
【当選回数】4

- ①野球・ソフトボール・ショートテニス
- ②果物
- ③和(なごみ)



むくひら なおやす

椋平直康

【住所】三木
【所属党派】無所属
【所属会派】無会派
【当選回数】1

- ①子どもと一緒に野球をする
- ②トンカツ
- ③小さなことを積み重ねることが、いつまでもないところへ行くための道



なかえ まさなお

中江正直

【住所】三河内
【所属党派】無所属
【所属会派】無会派
【当選回数】1

- ①キャンプ・料理・旅
- ②ラーメン・ソフトクリーム
- ③敵は我にあり



いまい こうすけ

今井浩介

【住所】三河内
【所属党派】無所属
【所属会派】よきの
みらい21
【当選回数】3

- ①ギター・バイク・ゲーム
- ②子どもが好きなもの
- ③人として真つ当に生きる



いとい まさと

糸井雅人

【住所】岩滝
【所属党派】無所属
【所属会派】よきの
みらい21
【当選回数】1

- ①庭の手入れ・矢沢永吉
- ②普通のカレー・焼き鳥
- ③まずはやってみる



やまぎ まさふみ

山崎政史

【住所】岩屋
【所属党派】無所属
【所属会派】よきの
みらい21
【当選回数】3

- ①めだか飼育
- ②焼肉
- ③衆力(しゆりき)功をなす



ながしま ひろみ

永島洋視

【住所】金屋
【所属党派】日本共産党
【所属会派】日本共産党
与謝野町議員団
【当選回数】3

- ①絵画鑑賞
- ②オムライス
- ③搾取も抑圧もない真に平等で自由な社会



やの かずき
矢野一樹

- 【住所】滝
【所属党派】無所属
【所属会派】与謝野
新政会
【当選回数】1
- ① 家庭菜園・ボードゲーム・旅行
② 焼肉・カオマンガイ
③ 試行錯誤



そのだ けんた

園田研斗

- 【住所】後野
【所属党派】無所属
【所属会派】与謝野
新政会
【当選回数】1
- ① 読書・ジョギング
② 餃子・パクチー・チョコアイス
③ 日々精進・一期一会



いさお
家城功

- 【住所】三河内
【所属党派】無所属
【所属会派】よさの
みらい21
【当選回数】6
- ① ぶらぶらすること
② 何でも
③ 感謝



おくの みつとし

奥野光敏

- 【住所】三木
【所属党派】無所属
【所属会派】奥和会
(おっわかい)
【当選回数】1
- ① 家庭菜園・釣り
② 妻の手料理
③ 継続は力なり



わた ひろゆき
和田裕之

- 【住所】石川
【所属党派】無所属
【所属会派】奥和会
(おっわかい)
【当選回数】5
- ① 楽器演奏(ギター・ドラム)、料理 格闘技
② ラーメン、カレーライス
③ 一期一会、努力は必ず報われる



みやざき ゆづへい

宮崎有平

- 【住所】若滝
【所属党派】無所属
【所属会派】無会派
【当選回数】5
- ① スポーツ観戦、ゲートボール、ウォーキング
② 焼肉
③ 和を似て貴しと為し、忤ふること無きを
宗とせよ



5月臨時会

5月12日に与謝野町議会改選後、初の議会となる臨時議会が行われた。1日目は議長選挙をはじめとする各役職が決められた。2日目となる13日は13件の議案が提案された。主な内容は、条例の一部改正と補正予算の専決処分等である。数名の議員の質疑ののち、全議案が承認・同意された。

令和7年度一般会計補正予算(第14号)

厳しい財政状況の打開を

野村生八

町 7年度、基金繰入の決算見込みは。
企財課長 財政調整基金は5千万円、その他特定目的基金は2億5千万円から3億円程度の繰入を見込んでいる。
町 返済額が13億円台に減ってきたのに、基金を取り崩す厳しい財政状況だ。今までの財政運営を見直す必要があるのではないか。
町長 指摘の状況で間違いない。今後の予算や事務事業を見直し、住民生活の必要性から、不要不急の事業を減らすことで、耐えしのいでいく。
町 給食センターと野田川地域のこども園という2つの大型事業を進めるために、財政運営を変えてきた。財政計画に基づいてできる事業を行う財政運営にしなければ、同じことが起こる。今までの財政運営の姿勢を改めるべきでは。
町長 指摘はもっともだと思っている。今の財政の状況を明確にし、しっかりとした財政計画を立て、慎重に運営する。

令和8年度一般会計補正予算(第1号)

給食センター工期延長は

中江正直

町 今回の給食センターの工期延長は、ただ単に金銭面の問題だけでなく人の配置、配送スケジュール、何よりも子どもたちへ最新の設備を備えた給食を提供するといった、食育そのものにも影響があると思うが。
学教課長 アレルギー対応や最新の衛生管理など、安心安全な食事を提供することが遅れることになり問題と感ずる。早期に完成を進めていく。
町 過去にこのような大型公共事業が遅れることはあったのか。
建設課長 過去の大型事業において、工期がこのようなことで遅れた事実はない。
町 今回の工期遅れで今後の大型事業においては、スケジュール管理・費用管理・情報公開管理など、しっかりと取り組んでいく必要があると感じるが。
町長 今後においては、スケジュール管理をしっかりして進め、そのつどチェックしていく仕組みを組み立てていく。



新設する給食センター完成予想図 (教育委員会提供)

各議員が行った主な質疑

問 議会運営委員会で、すでに12月議会にむけて特別委員会を設置するかどうか結論を出そうと全員で確認していた。なぜ独自に提出したのか。議運を軽視するものだ。

答弁 軽視はしていないし、ルールにもとづき提案している。

問 そうなら、12月議会からスタートとすべきだ。あるいは、まず議運に提案すべきだ。

答弁 議運後に会派で議論し、12月を待たずにスタートすべきとなり、権利を行使し提案した。

問 この課題は議会全体で取り組むべきで、議運で出すべきだ。

答弁 議運で提案すべきかどうか分からないが、会派で提案すべきとなった。

問 新人議員は知らないことが多くある。なぜ今スタートなのか。

答弁 新人もベテランも、必要性も含めて委員会で協議することが必要と会派でなった。2年以内には結論や方向性を出したいので、早すぎることはない。

多くの議員が、議員の定数や給与を含めた議会の活性化、改革には賛同を表明した。

問 議員定数・給与と議会活性化は分けて協議すべきではないか。

答弁 委員会の中で、分けて協議すればいいのでは。

問 提案者と賛同者は、会派の人だけだ。他の人に相談はしなかったのか。

答弁 他の議員には相談していない。会派で積極的に進めると相談をした。議運のほうが早く出たが、しっかりとした方向性が出ていなかった。

問 新人が多い中、まず議員間で協議をすべきだ。みんなで議論して内容がわかる中で特別委員会を立ち上げるべきだ。

答弁 過去にみんなでの協議が進まなかった中で、特別委員会7人でまずたたき台をつくり、その後みんなで協議するべきと会派でなった。

答弁は家城議員

進め方に疑問を感じる

園田研斗

問 議会改革や活性化は必須だが、議会運営委員会の議論を軽視した進め方に疑問を感じる。

家城議員 軽視したとは考えていない。会派で決定した結果。
問 議案が可決された場合、案のまま進むのか。

家城議員 基本的には案に沿って進めたい。
問 議員が半数変わつた。会派別構成ではなく、女性・子育て枠など優先的に入れるべきではない。

家城議員 会派としては、そこまで議論していない。

十分な議員間討議を

安達種雄

問 ここ一、二年議員間の討議が非常に少ないが、議員間の討議の場を生み出すようすべきと思う。会派で協議されているか。

家城議員 これまでも議員間討議はされてきた。特別委員会で議論し、必要なら議員全員に諮る。

問 今年の特別委員会で認められたら、全議員の議員間討議に諮るなど、民主的な委員会運営を要望する。

家城議員 タブレットはもって議論が必要だった

問 昨年6月に町民の協

家城議員 タブレットはもって議論が必要だった

家城議員 タブレットはもって議論が必要だった

(議員要望)

令和8年度6月定例会

令和8年6月定例会は、6月2日に開会し、24日までの23日間の会期をもって閉会した。

主な議案は、3月の骨格予算に対する肉付けの予算である一般会計補正予算第2号、各特別会計等補正予算4件や野田川地域の認定こども園の建設や大江山運動公園のトイレ改修工事費などの一般会計補正予算第3号、任期満了による代表監査委員の選任などの人事案件5件、条例の一部改正等6件、委員会発議や議員発議など、合計21議案が提案され、議員発議を除く18議案が原案どおり可決・同意された。

一般質問には15名の議員が登壇し、3日間にわたり町長の政治姿勢や町政運営の考えについて疑義をただした。

特集

与謝野町議会改革特別委員会の設置に関する決議（案）

賛成6：反対9で否決

会派「よさのみらい21」を代表して、家城功議員から議会改革特別委員会の設置を求める議案が提出されました。

質疑で多くの議員から、議会の活性化をめざす議論や改革は必要との見解が表明されました。

しかしすでに議会運営委員会で、このことは協議がされていました。協議の中では、半数が新しい議員でまだ議会の全体が理解できていないので、12月議会に向けて協議することが確認されていました。今回の議員提案は、この議運の協議を無視するものではないか。また、議会改革・活性化は、議員全員で議員間協議を行うべき、議会全体の意思で議会運営をすすめる役割を持つ議運が提出することが本来ではないか、なぜ他の会派や議員に相談がなかったのか、などの疑問が多く出されました。採決の結果、反対が多数で否決となりました。

多くの議員からの活発な質疑や討論がされました。その内容の一部を、特集としてお伝えします。

決議案の内容（要旨）

議会改革と活性化について、調査・検討を行うために、議会改革特別委員会の設置を求めるもの。

委員定数は7人。（各会派から5人、無会派から2人）

設置期間は調査・検討が終了し、議会提案するまで。

取り組む内容は

1. 議会活動と議員活動について
 - ① 閉会中の委員会の在り方について検証や研究をする
 - ② 議会に町民が参画できる取組の協議検討をする
- A 議会懇談会をさらに充実するための調査研究
- I 議会モニター導入に向けての調査検討
- ウ 「子ども議会」など議会活性化や町民参画の研究

2. 議員定数と議員報酬について

- ① 議員定数の見直し
- ② 議員報酬と政務活動費
平均1.2倍の物価上昇、約10%上昇している給与などをふまえた議員給与の見直しと、現在支給されていない政務活動費の研究や協議

意見募集！

新しい議会に期待すること

4月の選挙では、半数の議員が代わり議会体制も新たになりました。そこで、町民の皆さまから「新しい議会に期待すること」と題して意見募集させていただきます。いただいたご意見は、広報広聴活動として議会だよりなどを通じて情報発信させていただきます。多くのご意見をお待ちしております。

- 応募方法：オンライン（二次元コードのアンケートフォームから）、メール（gikai@town.yosano.lg.jp まで）、紙媒体（議会事務局まで）
- 必要事項：年代、性別、居住地区、ご意見（100文字以内）、掲載可能な方は、氏名も



議員が直接取材した声をご紹介します。

三河内 70代（男性）

◆若者が定着する町になるよう議論を。

温江 70代（移住者／男性）

◆合併から長く経つが、いまだに町が一つになっていない。新人議員さんを中心に一体感をもった行政運営を期待する。（祭りの協力から進めればいかと）

岩屋 50代（男性）

◆議員定数を含めた議会改革を進めていただきたい。

三河内 60代（男性）

◆「議会改革」の本来の目的は、議会の機能を高め、住民のためにより良い議会をつくること。定数削減は改革の「手段」の一つであり「目的」ではない。議員数が減ると住民の多様な民意が反映されにくくなり、地域や世代、職業の代表性も低下する。

石田 70代（女性）

◆議会中継を時々観ているが、英語をカタカナに変換して理解できないことがあるので、日本語に翻訳して発言してほしい。女性が議員に立候補できる環境づくりをお願いしたい。

後野 30代（女性）

◆人口減少もあり議員定数は2～3名ほど削減すべき。削減した予算で元気の活気あふれるまちづくりをしてほしい。与謝野町のPRを積極的にしてほしい。

弓木 30代（女性）

◆老人向け政策だけでなく若い世代の声を反映させてほしい。予算の使い方も、若い人にも分かりやすくしてほしい。今、政治に興味を持つ若者が増えたのは、暮らしにくい国になったことが原因だと思う。だからこそ透明化、説得力が必要。要は、みんなが安心して暮らせる町にしてほしい。

表彰



和田裕之 議員

令和8年6月19日、午後2時より京都府立府民ホールにて、京都府開庁記念日・記念式典が開催されました。西脇知事の式辞の後、表彰状贈呈が執り行われました。特別感謝状、篤志者表彰など個人・団体など多くの方が受賞されました。市長村・地域自治功労者表彰では、議会議員5名が受賞し、与謝野町議会からは宮崎議員、和田議員が受賞しました。



宮崎有平 議員

討論

賛成討論

今井 浩介

（よさのみらい21）

議会改革は必要不可欠

改選により新たな体制となった議会としても、このタイミングで皆が今一度議会の活動を認識するとともに、自らを律し、町民に信頼される議会として、議会改革は必要不可欠であると考えます。

賛成討論

棕平 直康

議員定数の議論は待ったなし！

議会運営委員会で議員定数等適正化については年内を目途に議論開始するか検討することになっているが、先の選挙は町民の皆様から与謝野町議会の活性化及び充実、情報公開を期待された結果である。だからこそ、議員定数等の議論は今すぐ始めるべきだと強く思い、賛成討論とする。

反対討論

奥野 光敏

（奥和会）

必要だが時期尚早

家城議員から提出された議会改革特別委員会（以下、委員会）の設置については、議会運営委員会で今年の12月をめどに議論して決めていくことが示されている。議員12名のうち、私も含めて7名が新人議員で、まずは議会改革の必要性や効果について知見を広げるべき。また、委員会の設置は議運で発議すべきで、時期尚早と考え、反対する。

反対討論

矢野 一樹

（与謝野新政会）

まずは議員間討議の実施を

会派としては、議会改革の取り組みは必要であると認識している。

一方、先の選挙で8人の議員が入れ替わり、特に新しい議員はこれまでの経緯について知らないこともある。5月の議会運営委員会の場でも述べたが、まず最初に各議員の考えを全議員で共有して話し合うことのできる議員間討議の場で議会改革の話伺いたい。

他にも質問で多くの疑問点が挙げられている。そのような中で議会改革特別委員会を本日中に立ち上げなければ、改革が間に合わないとは考えない。

反対討論

永島 洋視

（日本共産党与謝野町議員団）

議運軽視・合意形成に努めず

新人議員が多く、判断できるようになる期間を設け、年内に議会改革特別委員会を設置するかどうかを検討するという、議会運営委員会の確認があるにも関わらず、一会派のみで提案した。これは議運軽視、議員間での合意形成に努めるという姿勢がない。提案者は議会改革するかどうかだと言ったが、議運での議論を尊重するかどうか、時期が適切かどうかである。

※議運＝議会運営委員会

一般会計補正予算第2号

全員賛成で可決

中東情勢対応の事業に

永島洋規

問 商工会助成事業1千万円の追加は、中東危機にも対応する事業と、町長説明があり、新聞でも報道された。担当課資料では、危機対応でない。

産観課長 経営安定を目的にした事業とした。

問 中東危機の業者救済こそ、今求められている。提案は販路開拓と設備投資支援で、体力のある業者支援。困った人

手を差しのべるのが町政。事業見直しを。

町長 物価高騰に加え、中東情勢が拍車をかけている。事業の運用で対応できるようにする。

産観課長 町長答弁のとおり再度検討する。

政策化が、できていない

問 地域経済分析事業として、消費動向調査の予算が計上。令和3年度

にも調査を実施。前回との相違点は。

産観課長 情勢変化での再調査と消費者調査をしたい。

問 調査は、他の委託事業と比べ、素晴らしい内容であったが、調査結果に基づく政策化ができておらず、循環経済が進んでいない。

町長 今回は必ず政策化

庁舎管理の徹底をすべき

和田裕之

問 今回、与謝野庁舎

管理運営事業では、本庁舎のキュービクル（高圧受電設備）内の、変圧器の撤去・更新において、2千7百万円もの高額な予算が計上されている。しかも、変圧器内部には低濃度のPCBが混入していることが判明した。低濃度の処分期限は来年の令和9年3月末である。なぜ、こんな遅くな

のか。

総務課長 法定点検や保守点検に基づき劣化や絶縁性を考慮し更新するが、PCBについては不明。

問 PCB廃棄物の適正処理や機器類の一斉点検については、これまで再三議会でも点検の徹底を指摘してきた。特に施設等の蛍光灯の「安定器」による爆発や油漏れ

で子どもが被害にあうなど、全国的に小・中学校でも問題となった。しっかりと管理徹底すべきでは。

総務課長 設置当時の経過を知らないが、担当課として反省すべき点である。

問 次の問題点としては、変圧器の入れ替え工事（更新）費用で、キュービクルが屋上設置とはいえ、高額すぎる点だ。庁舎建設当時にはなかった、キュービクル（金属箱）の上に「上屋」が建設されており、それにより、変圧器入れ替え工事には、上屋の屋根撤去及び鉄骨の取り外しのうえ、クレーン作業となり復旧工事も必要。こういったのが無駄ではないか。経費削減を。

町長 補修のことも考えた設計にしくはない。



本庁舎のキュービクル（高圧受電設備）

創業の誘致策と織物振興は

糸井雅人

問 西陣などからの織物工場の進出や創業ニーズに対し、空き家バンクに工場や工房など事業向け物件情報を掲載しては。

産観課長 空き工場などを活用した企業誘致は重要で、町の織物技能訓練センターも魅力となっており、条例なども活用して多様な進出に対応し拠

点の強化を進める。

問 織物実態調査の実施年であるが、稼働する織物事業所数が激減する中で、今後の織物振興に対する町長の見解は。

町長 生産量はピーク時の約1%に減少したが、3百年培った伝統技術は町の財産。織物に限らず、モノづくりの町として積極的な支援を継続する。

与謝野駅のビジョンを

家城 功

問 駅外周整備に約4千万円の計上であるが、駅舎の改修も含めると総額で約1億円以上と聞いている。与謝野駅を今後どういった活用をしようとして行政は考えているのか。

町長 観光の一つの拠点として、また通学する方が活用できる場所として。

問 計画が甘すぎる。運営や管理、将来的なビジョンが全く理解できない。

町長 しっかりとしたものを町民や議会に示す。

問 駅舎の実施設設計に約6百万円の計上であるが駅舎改修の費用は。 **企財課長** 約8千万円の予定をしている。

問 駅の管理計画がずさんである。今後管理は誰がどのように考えているのか。 **町長** 「みえる」形を9月議会までに必ず示す。

地域振興基金の使い方

野村生八

問 地域振興基金は、基金の目的とは違う運営になっているのではないか。

企財課長 財政調整基金と地域振興基金を当てないと予算が組めない状況。

問 地域振興基金を、財政調整ではなく、ふさわしい使い方にすべきだ。 **企財課長** 使い方を内部でしっかり考えていく。

町長 用途に合わせて使うようにしていく。



若い後継ぎも頑張る織物工場

データの有効活用を

矢野一樹

問 環境にやさしい農業最適化調査事業で、衛星データを活用した土壌炭素量マップを作成するところ。既に同様の情報がインターネット上で公開されているが、違いは。

農環課長 この事業では、町内40カ所の圃場からの土壌サンプルと、衛星データの解析結果との突合を行うため、より詳細な情報が得られる。

賛成討論

今井 浩介
(よさのみらい21)

計画をしっかりと示すこと

与謝野駅整備事業については、計画性が全く見られないの是一目瞭然。今までの意見が全く反映されていない。町長が9月議会までにはしっかりとビジョンを示していくと約束をいただいたので、町民のための事業が遂行されることを祈念して賛成討論とする。

与謝野町一般会計補正予算（第3号）

賛成多数で可決 賛成11・反対4

認定こども園事業の中止を

江原英樹

町長 前町長からの引き継ぎ事業である認定こども園建設について、現在の佐賀政権下での事業継続の是非を問う。15年後には人口が1万5千人、0歳児が40人に減少するとの予測がある中で、30億円規模の施設が将来的に「ガラガラ」になり、年間7千5百万円の維持費がかかることへの懸念がある。現状と15年後の姿を明確にし、町長自身の決断とリーダーシップを求める。

町長 今回の予算案はこれまでの計画をそのまま進めるためのものだ。当初、建設費高騰を受け、既存施設の活用や分散配置も検討したが、0歳児

の待機児童発生や、既存施設の大規模改修ではさらなる時間と費用がかかることが判明。さらに計画中止は3億6千万円の一括返済を伴い、財政的打撃が大きい。令和10年度までに子ども達を受け入れるためには、現行計画を進めるのが最善と判断した。また、過疎債を活用することで実質的な財政負担を抑えられる。15年後の人口減少については認識しているが、その時点での社会情勢に合わせて施設の有効活用を検討していく方針である。長年待たせてきた保護者への約束を果たす責任もある。



新設する野田川認定こども園完成予想図（子育て応援課提供）

こども園、町長苦渋の決断

永島洋規

町長 選挙では、こども園見直しの期待で投票した人も多い。見直した結果、財政負担がさらに増えることから、計画通り。

新園舎の早期開設を望む

園田研斗

町長 いつから開園予定か。 **子育て課長** 年度途中で新園舎で開園したい。

既存の園舎の活用は

家城 功

町長 石川地区で進められている野田川認定こども園については、令和10年度からの運営を開始すると聞いている。新しい施設の議論はいろいろとされているが、既存の市場と山田のこども園の園舎は今後どうなるのか。 **町長** 有効的な活用ができるようにと考えている。 **町長** 今から早急に計画を進めなければ、間に合わないことになる。 **町長** まだ検討の段階であり、しっかりと計画を立てるように努めている。

変わるこども園建設事業

野村生八

町長 ビオトープ（※）を作ると言っていたが、作るのか。 **子育て課長** 検討していない。

町長 こども園には、周りに商店があることが大事と言っていたが、訂正された。あまりにも無計画に進めてきた。

町長 交通問題は今回も変わっている。こども園前の道路にポストコーンで道

幅を狭めるという資料が初めてあるが。 **建設課長** ポストコーンで3メートルに縮めてはと警察に提案されている。

町長 いまだに安全対策はできていない。診療所横の交差点改良もして、安全対策を今後もすべきだ。 **建設課長** 今後も安全確保を考えていく。



大江山運動公園

施設利用者への配慮を

矢野一樹

町長 大江山運動公園のトイレの工事中は、周辺の施設の利用制限などの影響が出るが、利用団体などへの説明は行ったのか。 **社教課長** 行っていないが、詳細が確定した後に利用団体などへの周知を行いたい。

町長 年度内の工期となると、利用者側からは急な説明に感じるのでは。活動への影響が少なくなるよう配慮が必要では。 **社教課長** 可能な範囲で配慮したい。



解体するトイレ棟

避難場所整備が目的では

糸井雅人

町長 便所整備は国の交付金で財政負担なしだが、便所新築工事に「7430万円」の詳細は。 **社教課長** 一般的なトイレ棟だが公共下水道の計画区域外のため、合併浄化槽の追加で高額になる。

町長 交付金が京都府を通じて「消防費」として下りているが、町の予算は「社会体育施設管理費」に計上され、有事は所管の対応も懸念される。府へ要望したモニタリングポストの設置もないが。 **総務課長** 有事には広域避難の要領、与謝野町の地域防災計画に基づいて適切な運用を行っている。モニタリングポストの必要性は認識しており、引き続き次年度も京都府へ設置の要望を行う。



こども園横の町道

（※）ビオトープ：様々な生き物が自然な形で共生している生息環境

賛成討論

今井 浩介
(よさのみらい21)

健全な教育環境に待ったなし

野田川地域子どもたちが、健全な教育環境のもとで保育・教育が受けられる環境整備は、いち早く作る必要がある。そして、今から通われる子どもたち、保護者、そして今から生まれてくる未来の子どもたちのためにも、地域一丸となって建設されることを願う。

反対討論

野村 生八
(日本共産党与謝野町議員団)

認定こども園建設見直しできず

町長は、財政再建のために、不要・不急の事業を見直すといい、こども園建設も再検討を行った。しかし、ここまで進んでいる以上、見直しは困難と判断をされた。非常に残念だ。

前町政が進めてきたこども園建設は、場所・規模・財政など賛成できなかった。同じ内容であり、反対せざるを得ない。

今後5年間は、大きな事業はできない厳しい財政運営になる。それでも、住民福祉の向上、暮らしとサービスを向上させ、より良い与謝野町に向けての奮闘を期待する。

反対討論

江原 英樹

町長公約と政策の矛盾を問う

野田川認定こども園建設に反対する。町長の財政再建・産業振興公約と、前町政からの大型事業継続・加速化は矛盾。少子化と子育て世帯流出が深刻な中、人口減少社会に合わない22億円の施設建設は不適切。町の財政状況は極めて厳しく、実質公債費比率や将来負担比率が全国平均を大幅に上回る現状で、根拠不明な高額事業を進めるのは無責任。必要なのは産業振興、子育て支援、人口減少対策であり、建設ではなく計画の見直しを強く求める。

与謝野町組織条例の一部改正について

新たな体制は機能するのか

園田研斗

防災対策強化とあるが人員不足では。

総務課長 今後調整する。

CATVセンター長も撮影に行くのか。

総務課長 センター長も撮影に行くことになる。

第3次地球温暖化対策実行計画（区域施策編）を策定し、令和8年度から事業を推進していくはずだが、新たな体制でも問題ないか。

総務課長 しっかりと実施していく。

町 相対的に管理職の割合が増え、一般職員の事務量が増えるのではないか。

総務課長 課長がしっかりと考え配していく。

町 長期休職中の職員は何人いるか。

総務課長 令和8年4月1日時点で4人。



新しい事務分掌表（組織表）

地球温暖化対策室の今後

石野洋子

今回の組織再編では、「地球温暖化対策室」がなくなり、農林環境課内の環境係に統合される。

「室」の名称がついた部署の中では唯一、一般住民が参加して「よさの百年の暮らし委員会（みらいふ）」が組織されて、活発に活動してきた。小学生や高校生、大学生とも一緒に取組をしたり、近隣の市町の取組との連携もあり、近年では野田川わくわくばるでの「みらいふまつり」に5百人規模の町民が参加している。

どのように保障されるのか。

総務課長 特定の部署が行う特別な施策でなく、日常の環境行政の中に脱炭素の視点をもち、より広がりや安定性をもたせるものである。予算面でも後退することはない。

町長 町全体で今後一層地球温暖化対策に取り組むというこれまでの町長の考えは。

町長 組織が変わってもこれまでの取組や環境に対する町の姿勢は変わらない。先日「みらいふ」の打ち合わせに参加して共に頑張ろうと話したところである。施策の転換は考えていない。

健全な財政運営の機構に

野村生八

厳しい財政運営が続いている。企画課はあくセルで財政課はブレキだが、一つの課になっている機構にも要因がある。

町長 理解できるので参考にする。



健全な財政運営を

組織的なDXの対応は

矢野一樹

役場の業務を定める条例から地域情報化という文言が削除されるが、どのような業務なのか。

総務課長 国が示す地域情報化は非常に広い範囲

の業務だが、今回は与謝野町有線テレビのインフラ整備のことである。

町 この文言がなくなること複数部署に関わるDXの課題や相談ごとの対応が、担当部署

が決まらず宙に浮いた状態にならないか。

総務課長 今後は担当課だけでなく、総務課も入って対応していきたい。

このような住民とつながってきた貴重な活動が縮小されずにしっかり引き継がれるのか。

農環課長 特命というものが削られたが、課としては強化する。下火になることはない。



みらいふまつり（農林環境課提供）

※よさの環境みらい2026

一般質問

～それは、私たちの声を
「町政」に届けるプロセス～

「一般質問」とは、議員が町政のさまざまな課題について、町長などの責任者に公の場で質問を行うことです。

議員は、住民の皆さんから寄せられた意見や要望、あるいは自ら調査した町の課題について、「なぜそうするのか」「もっとこうした方がいいのではないか」と直接問うことができます。

行政のチェック役としての役割を果たすとともに、議論を通じて町の将来像を具体化させるのが、この一般質問の大きな目的です。私たちの暮らしがより良くなるための重要な一歩が、ここから始まっています。

Q 町民との対話の進め方は

A わがまち対話会を実施



なかえまさなお
中江正直 議員

○ 合併20周年の節目に町長および議員の半数が新しく変わり、町民は変化を期待されていると思う。町民との対話をどのように進められ行政に反映していくのか。

町長 自身対話の重要性を訴えてきた。新たに各区の公民館でわがまち対話会を実施し、幅広く町民の意見を聴き、担当課と共有して、必要な手立てを取っていく。

○ 過去より参加者が固定化して若者・子育て世帯・移住者など多様な層の声が届いていないとの声があり、参加できない人にオンラインでの参加も検討してはどうか。

町長 私もそのような声を聴いている。今回の意見も踏まえ、できるだけ多くの町民との対話ができるように時間帯など工夫して進めていく。

防犯カメラの必要性

○ 社会的に防犯カメラの重要性が高まり、安心安全な暮らしを守るためにも、町が主体となって進めるべきと思うが。

町長 現代的なインフラ整備として重要との認識のもと、地域支援という枠組みにとどまらず、町自ら主体となつて進めていくという新たな方針を決定して取り組んでいく。



与謝野駅周辺

Q 学校統廃合方針は町長姿勢と異なる

A 教委方針のみで進めることは考え方がかい離

○ 教委の学校統廃合方針は、住民意見を聞かず決定。教育長は意見を聞く場を設けると約束したが、まだない。住民意見を聞く町長方針とかい離。

町長 町民理解と信頼が大切。教委方針のみで進めるとなれば、考え方は大きくかい離する。

○ 給食センターも4億円も事業費が増加。資材高騰などでさらに増加する。財政的にも統廃合は見直しが必要では。

教育長 計画している年度の実施は、厳しい状況。

○ 統廃合方針では、コミュニケーション力を育むために、一定規模の生徒数が必要とある。兵庫県香美町では、小規模校同士の合同授業を取り入れ、小規模校の良さを残している。勝山子どもの村小中学校では、学年を超えた



山田小学校

クラス編成の小規模校で、進学先の学力テストでは、140人中平均23番という結果で、国際的に活躍している人材を多数輩出している。一定規模の生徒数が必要という根拠はない。

教育長 小規模校を否定するものではない。

○ 小規模校の良さや小中一貫校の事例を調査研究していない。町民に情報提供もしていない。

教育長 町民への資料提供は考える。

スーパー誘致を準備中

○ 加悦地域の対策は。

町長 窮状は十分理解している。課題解決に動こうとしている。

Q 越境樹木による交通障害への対応は

A 町民の安心安全のための啓発と対策を実行する



いといまさと
糸井雅人 議員

○ 町道山手線の男山区で樹木の伸びた部分が道路側へせり出し、大型車はセンターラインを越えて走行している。樹木は私有地にあり、町としては倒木などがない限り対応しないとのことだが、危険性の認識と対策は。

町長 大型車両の通行に支障がある状況は、交通安全上重大な問題であり、危険と判断される部分は適時適切に伐採を行っているが、私有地の樹木については、所有者に適切に管理をしていただくことが基本になる。

○ 町民からの指摘には建設課としても常にそういう答えなのか。

建設課長 所有者の方に伐採してもらうことが原則であり、所有者に伐採をお願いする状況である。



樹木がせり出した道路

注意喚起が全くない！

○ 他市町ではホームページや広報で、法に則った伐採の呼びかけと、所有者の責任を通告しているが、当町においては全くない。事故が起ければ所有者と、道路管理者である町長の管理責任も問われることも起こりえるが。

町長 法令遵守は自治体として徹底しなければならぬし、町民が安全に暮らしていくために、今後はしっかりと啓発し実行していく。

Q 町中学校も給食費無償化を

A 国の動向を注視し本町の支援の在り方を検討

問 4月からの国の小学校給食の無償化で、町の負担軽減額は。

教育長 5月の試算では950万円軽減となる。

問 令和6年3月議会で「一部補助制度も含めて検討」との決議が採択されている。軽減額も合わせて早急に中学校の無償化を検討できないか。

町長 町独自では財政状況、子育て支援の優先順位の課題を解決した上で方向性を見出したい。

児童公園の管理は

問 公園の管理が3つの課や各区に任せられ、方法もばらばらである。特に大江山運動公園の遊具の傷みはひどい。町全体として一体で管理できないか。

町長 町全体として一体的に管理する仕組みを検討する。



いしのようこ
石野洋子 議員



大江山運動公園の危険な遊具

問 放置されている危険遊具についての表示は？

教育長 早急に表示する。

資源ごみ回収補助金は

問 多くの団体に定着してきた取り組みである。特に夢織りの郷では、利用者の大切な仕事でもあり、町内のごみ減量化に貢献してきている。1キロ2円の単価に対して利益を得ているという理由づけは理不尽である。「終了」の撤回、復活は。

町長 担当課に、さらに取り組みが広がる新たな事業の検討を、遅くとも来年度予算化できるように指示している。また福祉施設については、福祉施策としては対応ができるように検討する。

Q 町自治体条例で地域に総合窓口を

A 自治基本条例の制定は不可欠



のむらしょうはち
野村生八 議員

問 3庁舎での総合窓口は、いつ設置するのか。

町長 今年度中に「窓口改革プラン」を策定し、来年度実施を考えている。

問 さらに、地域協議会を設置し、各地域に総合窓口を設置すべきでは。

町長 DXで、できる可能性はあると思う。

問 住民参加、住民との協働、住民自治の考えは。

町長 町の主体は、個人、家族、事業者、団体であり、行政は仕組みづくりを手伝っていく。

問 「自治基本条例」の設置についての考えは。

町長 町の自治の基本や、町民、議会、行政の役割などを定める重要な条例。これまで、これなしでよくやってきたなど感心する。「自治基本条例」は



三河内公民館

必要だと思っており、新たな機構改革で、担当する組織を設ける。

問 「住民自治協議会」の設置についての考えは。

町長 伊賀市では、自治基本条例に住民自治の仕組みを位置づけている。おおむね小学校単位で住民自治協議会が設置され、地域に住む人や活動団体、事業者などが参加し、地域まちづくり計画に基づいて活動されており、重要な視点である。

本町では、地域円卓会議（仮称）を設置し、この中で住民自治協議会のような組織の在り方、行政と地域の役割分担を明確にしていく。

Q 第3次総合計画にかける町長の想い

A 住民を第一としたまちづくりを努めていく

問 新町長の想いや考えをどのような形で追加し反映していくか。

町長 就任後すぐ総合計画審議会の会長などと意見交換を行った。これまでの議論の経過を尊重するのが基本的な姿勢。特に財政健全化や公共施設の統廃合・集約化、公共交通と住民対話について考えを伝えた。基本構想の中間答申では自身の想いや考えも反映いただいた。また、町民憲章を大切に受け継いでいただいたことを特に評価しており、これを機に住民の皆さまにも改めて注目していただきたい。

問 5つの方針（政策）を掲げているが、各分野において特に重視したい取り組み（施策）は。

町長 各課と議論中。整理して改めて示したい。



総合計画中間答申（企画財政課提供）

問 今後デジタル技術を活用したまちづくりは必須だが、第3次総合計画に盛り込む予定は。

企画課長 各分野においてDX（デジタルトランスフォーメーション）を推進していくべきだと考えており、庁舎内を横断するプロジェクトチームを立ち上げ議論を始める。

問 住民への意識づけは。

町長 各種広報やパブリックコメントなどを通じて周知していく。

問 職員への意識づけは。

企画課長 各課で周知している。職員研修などを通じてしっかりと伝えていく。



そのだけんと
園田研斗 議員

Q 阿蘇ベイエリアの活性化について

A 核となる阿蘇シーサイドパーク活性化は重要



おくのみつとし
奥野光敏 議員

問 阿蘇ベイエリアの地域経済への位置づけは。

町長 地域経済発展の極めて重要な要素。海の京都の玄関口として野田川・加悦エリアへ送客する拠点と位置づけている。

問 阿蘇シーサイドパーク（以下、阿蘇シー）周辺に汽船場建設は。

町長 遊覧観光・屋形船など活用を前向きに産業振興会議で検討中。

問 阿蘇シーのハード面で道の駅・足湯・ドッグランの整備は。

町長 同じく産業振興会議で議論中。今秋に提言書が出る予定。

ハード整備に加え、利用手続きの簡素化・わかりやすい料金設定などソフト面もスピード感を持って整備する。

産観課長 維持管理コストと採算性を重視し、もうかる仕組みが必要。民間



阿蘇シーサイドパーク

連携・外部財源の活用を視野に段階的に研究。

問 阿蘇シーの名称は残し、企業名を追加するネーミングライツについては。

町長 検討に値する。

問 阿蘇シーにおいて催事やイベントの拡充および事業者への場所提供は。

町長 出店規制の緩和・ルール整備、戦略的な情報発信に注力する。

Q 町バス下校がゴールではない

A バス運送も視野に入れ検討



やまざきまさふみ
山崎政史 議員

問 夏季の下校時のみ、通学距離がおおむね2kmを超える児童を対象にバスの運行が実施されているが、下校時のみの対応では不十分ではないか。

町長 児童の安全を守ることは絶対であり、通学時においても多くのリスクに対応する必要があると考える。児童の通学環境は、一律ではない多くの要因が存在し、状況の異なる児童に対して適切な対応をしている現場の判断を重視するが、わがまち座談会などを通して地元の声を拝聴し、対応の是非についても検討していきたい。

問 文科省はスクールバスの運行に基準を設け補助があるが、この事業はスクールバスではなく熱中症対策であり、町の決断で登校時も運行することでもできるのではないか。



登校風景

町長 住民本位で考えるべきと考えるが、現状と制度設計を見てみないと何とも言えない。

問 夏季のバス下校の取り組みがゴールではなく、今後も児童・保護者が安心して学べるより良い環境づくりのための議論・検討が必要。

町長 子ども達の登下校が不便になっているのも現実、公共交通も含めバス運送も視野に入れながら検討しなければいけない大きな課題のひとつ。

Q 与謝野町の行政デジタル化の現状は

A 複数の課題はあるが取り組みを進めている



標準システムを扱っている窓口

問 与謝野町行政DX推進計画について新町長としての考えは。

町長 計画の目的である「町民の利便性向上」と「庁内業務の効率化」は極めて重要と認識している。一方で専門人材の不足などの課題がある。

問 現在、資格などを持つ専門的なデジタル人材が役場内にはいないとのことだがその対策は。

町長 職員の資格取得や採用にも力を入れていきたい。外部専門人材の活用についても具体的なプランを検討していく。

問 町の手続きや講座の申し込みなどでオンライン対応に差が生じている。

町長 現在の対応は各課判断のために差が生じてしまっている。今後、職員への定期的なシステム研修などにより



やのかずき
矢野一樹 議員

対策する。

システム経費の増大

問 本町では昨年度に住民基本台帳や税、福祉などの業務システムを国の定める標準システムに移行したが、経費の変化は。

町長 月額では476万円増加し、260%増となっている。

問 年間で5千7百万円以上の増加となる。システム標準化は国の施策であるため、経費の増加分は国に財政支援を強く求めるべきだと考える。

町長 今後、関係各所と協力をしながら国などに財政支援を求めていく。

Q 本年度は町政の土台作りが重要

A 日頃から職員と対話し町政に反映させる



わがまち座談会（7月13日浜町区の様子）

問 町民の声を生かす対話の町政とあるが、町民の声をどう聴くのか。

町長 これまでの町政懇談会を改め、24区を対象に座談会を開催する。また、団体・子どもたちとも対話を行う。

問 将来世代につけを回さない責任ある財政とあるが、財政運営は。

町長 まず課題を認識する。自主財源の確保が目標。税収増やふるさと納税で歳入額を増やしたい。歳出では役場業務の効率化を図り、事務的経費や人件費の削減に努める。

問 仕事と収入を生むまちづくりとはどんな施策か。

町長 本町の強みを生かした稼げる特産品の開発と、ふるさと納税の連携を強化。また、町外からの資金と活力を呼び込む。



いまいこうすけ
今井浩介 議員

問 事務事業評価はPDCAサイクルが重要。まだ詰めが甘いと感じる。

町長 期限を決めて事業計画を見直すことが重要。

問 観光について、町に呼び込む仕組みが必要。

町長 力を絞り込み、グラントデザインを作りたい。

Q 町内公共交通の更なる充実を

A 住民が暮らしやすい環境をつくる



あだちねお
安達種雄 議員

問 合併から20年が経過し、人口が2万5千人から5千人あまり減った。

他の市町と同様と言えども、町民の皆様が暮らしやすい町づくりが行政の責任と思う。高齢の方、障がいの方など、毎日の食材の買い物、医療機関への通

院など、移動の確保が大変である。その中でも岩屋、加悦奥、奥滝、与謝、温江、香河、石川川上地域は、近隣の食品スーパー、金融機関などが閉鎖され町民の皆様の毎日の移動が大変であり、行政として暮らしやすい町づくりに取り組むべきだ。

町長 地方公共団体における地域公共交通の整備が求められている。若者、現役、高齢者世代が暮らしやすい与謝野町を目指していく。香河の人が石川の診療所に行くのに、乗り換えなければ

ば行けないなど聞いている。

問 以前にも述べたが、隣の豊岡市の取り組みは、国、県、市と地元のバス会社、地元の地域の団体などと連携を取り、住民の移動の確保ができて

る。

「子育てするならこの町で」

「歳を重ねてこの町で」

町長 豊岡市はわが町の5倍の面積の市で、隣の町で称賛されてバス利用がされているなら学び、住民が暮らしやすい環境をつくらなければならない。



乗合交通で使用する車両

Q 児童数を増やす具体的施策を伺う

A 与謝野町らしい施策充実を図る

問 与謝野町の人口は減り続け、さらに児童数が全国平均よりも減っていることは認識しているか。

町長 児童数の減少は、地域経済、地域活動など、町の将来に大きく関わる重要な課題であると認識している。

問 現在中学1年生生徒数172名をピークに令和7年度出生数は67名と激減している。スピード感ある児童数を増やす施策を考えているか。

町長 流出人口に歯止めがかかっていない。経済政策、財政健全化に取り組み、「子育てをするなら与謝野町」を基本姿勢として若者回復率向上を図る施策を検討していく。

子育て施策は後回しか

問 財政健全化の中、町長は子育て施策への支出は不要不急との考えか。

町長 子どもたちを与謝野町で育ていただくための費用というのは、必要な経費だと思っている。



むくひらなおやす
椋平直康 議員

1. 合併前（旧3町）の人口推移（国勢調査）		
出典：年別町勢計画（国勢調査）		
年（国勢調査）	旧3町合計人口	
1980（S55）	28,061人	
1985（S60）	27,232人	
1990（H2）	26,371人	
1995（H7）	25,939人	
2000（H12）	25,593人	
2005（H17）	24,906人	

2. 合併後（与謝野町）の人口推移（毎年4月1日）		
出典：与謝野町「与謝野町の人口」		
年度（4月1日）	人口	
2006（H18）合併時	25,853人	
2010（H22）	24,664人	
2015（H27）	23,166人	
2020（R2）	21,219人	
2021（R3）	20,872人	
2024（R6）推計	約20,000人前後（年度統計書より）	

Q 物価高騰から町民・事業者を守れ

A 町民生活もゆとりがなく事業者の経営も圧迫



わだひろゆき
和田裕之 議員

とも繋がる。若者が帰りたいまちにすべきだ。

町長 子育て支援・教育、福祉の充実、産業活性化に全庁あげて取り組む。

防犯カメラ設置が遅い

問 議会でも以前から多くの議員が設置を訴え、私も何回も質問してきた。今議会の一般質問は3人の議員が取り上げている。防犯カメラは、犯罪未然防止、事件の早期解決、子ども・高齢者の見守りなど、命を守るために重要な。計画的な整備計画が必要。

町長 計画的に進めていきたいと考えている。

問 今の物価高騰は、特に食料品値上げで家計への影響が大きい。家計調査では、エンゲル係数が歴史的な高水準で娯楽や被服費を削り「食」を維持する余裕がない実態。事業者も原材料・資材価格上昇で厳しい経営環境だ。

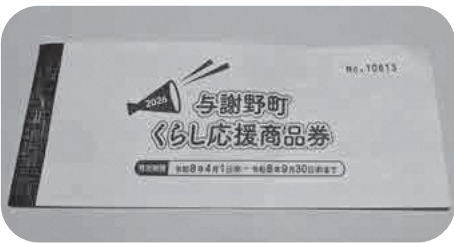
町民・町内事業者を守るために抜本的な対策が必要。

町長 ゆとりがなくなった方が50%という結果もあり、事業者の経営も圧迫。問「くらし応援商品券」は既に55%利用率である。これをどう評価するか。

町長 町民が待ち望んでおられ、生活が厳しいことの「指数」でもある。

若者が帰りたくなるまち

問 当町でも人口減少、少子高齢化問題は喫緊の重要課題だ。高齢化とは、少子化で引きおこると言っても過言ではない。子育て支援は高齢者を守るこ



くらし応援商品券

Q 健全な財政のために必要なことは

A 歳入歳出の見直しを図ること

問 町長が考える健全な財政とは。またそのために何をするのか。

町長 収支バランスを健全な状態にすることが必要。そのためには歳入と歳出の見直しを図ること。

問 健全な財政に収支バランスは重要であるが、まず意識改革が必要では。

町長 町民の大切なお金だという意識が必要。

問 次に活かす検証のあり方が欠けているのでは。

町長 しっかりとPDCAサイクルの改善を図り強化することが必要。

問 取り組み事業一つ一つに意味と意義がある。それがみえる形にすることが必要では。

町長 しっかりと心得る。

問 財政健全化において歳出の抑制は重要。課題の一つに公共施設のマネ



いえきいさお
家城功 議員



PDCAサイクルの改善

ジメントがある。施設ごとのカルテを作成し有効的な管理運営を。

町長 公共施設のマネジメントには評価できる材料が必要。検討する。

問 将来負担の軽減に基金の積み上げも必要では。

町長 必要であり努める。

町民の安心安全

問 安全見守りカメラの設置と管理は町行政が責任をもって取り組むべき。

町長 実施に向け官民の連携も図りながら、必要性も含め協議を進める。

問 収益にもつながるユーチューブ配信の検討を。

町長 課題もあるが実施に向けて協議を重ねる。

5月臨時議会 賛否一覧

議 案	議員名																
		賛成	反対	宮崎 有平	和田 裕之	奥野 光敏	家城 功	園田 研斗	矢野 一樹	永島 洋規	山崎 政史	糸井 雅人	今井 浩介	中江 正直	椋平 直康	石野 洋子	野村 生八
専決処分の承認を求めることについて（与謝野町国民健康保険税条例の一部改正について）		12	3	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	×	×

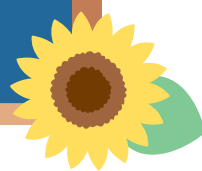
6月議会 賛否一覧

議 案	議員名																
		賛成	反対	宮崎 有平	和田 裕之	奥野 光敏	家城 功	園田 研斗	矢野 一樹	永島 洋規	山崎 政史	糸井 雅人	今井 浩介	中江 正直	椋平 直康	石野 洋子	野村 生八
令和8年度与謝野町一般会計補正予算（第3号）		11	4	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	×	×
与謝野町議会改革特別委員会の設置に関する決議（案）		6	9	○	×	×	○	×	×	×	○	○	○	×	○	×	×

○印は賛成 ×印は反対
（議長は賛否同数の時のみ態度を表明し、議案の賛否を決定します）

賛否の分かれた議案のみ掲載

地域を元気にする取り組み！



クアハウス岩滝 新しくリニューアルオープン

クアハウスは、本年4月より新たに指定管理制度により株式会社エヌ・エス・アイ様が運営されることになりました。

今までの温浴、プール、トレーニングを備えた健康増進施設を生かして、さらにグレードアップした取り組みについて、小嶋慶支配人に取材しました。

新たに水泳事業を全面に打ち出し、地域の健康増進や町民同士のコミュニケーションが増えることで町の活性化のお手伝いが少しでもできたらと考えます。今後においては、小学校のプール授業・教室に加えて、高齢者の健康運動教室などを図ってまいります。また、地域の皆さまのとのふれあいの場として各種イベントも開催していきますので、よろしくお願いします。



宮津天橋高校加悦谷学舎 書道部 林杏奈さん

議会だよりの表紙を飾る力強く素敵な題字を書いてくれた、宮津天橋高校加悦谷学舎の林杏奈さん取材しました。

筆で書く字が好きだと言ってくれたお母さんの影響で、小学3年生から習字を始め初段（初等師範）の腕前を持ちます。「自分らしさ」を表現できることが書道の魅力と語る林さんの目はとても充実して輝いていました。

議会だよりの題字を依頼した際は、「自分の好きな古典で書ける」と前向きに取り組んでくれたようです。地域貢献できるようなことがしたいと地元企業での就職を目指している林さん。未来ある若者の今後のさらなるご活躍を願っています。取材にご協力いただき、また題字を書いていただきありがとうございました。

【経歴】

3年生 林 杏奈さん
宮津市府中生まれ

- ・第49回全国高等学校総合文化祭（かがわ総文祭2025） 京都府代表
- ・第46回近畿高等学校総合文化祭兵庫大会 京都府代表

